#### 622

## (1)

静止していた電子が1Vで加速されるときに得る運動エネルギーを1電子ボルトと定義されているので、電子の得た運動エネルギーKは、

$$K = \frac{1}{2}mv^2 = eV$$
 $\therefore v = \sqrt{\frac{2eV}{m}}$ 
 $e = e$  ,  $V = V_1$  ,  $m = m$  を代入して、
 $v = \sqrt{\frac{2eV_1}{m}}$ 

## (2)

通過するのにかかる時間をt[s]とすると、

$$l = vt$$
 が成り立つ。

$$l=l$$
 ,  $v=\sqrt{rac{2eV_1}{m}}$  を代入して、 $l=\sqrt{rac{2eV_1}{m}}\cdot t$   $\therefore t=l\sqrt{rac{m}{2eV_1}}$ 

# (3)

偏向板間に発生する電界Eは、

$$E = \frac{V_2}{d}$$
 となる。

電子の受ける力Fは、

$$F = qE$$
 より、  $(\Box - \nu)$ 力)

$$q=-e$$
 ,  $E=rac{V_2}{d}$ を代入して、

 $F = -e^{\frac{V_2}{d}}$  (向きは電界**E**の正反対、鉛直上向き)

$$F = ma$$
 より、(運動方程式) 
$$F = -e \frac{V_2}{d} , m = m$$
 を代入して、
$$-e \frac{V_2}{d} = ma$$
  $\therefore a = -e \frac{V_2}{dm}$  (向きは電界 $E$ の正反対、鉛直上向き) よって、鉛直上向き方向に  $a = e \frac{V_2}{dm}$  の加速度が生じる。

#### (4)

偏向板通過直後の、鉛直成分の速さ $v_y$ は、

$$v_{yt}=a_y\cdot t+v_{y0}$$
 より、 
$$a_y=e\frac{v_2}{dm}\;,\;t=l\sqrt{\frac{m}{2eV_1}}\;,\;v_{y0}=0$$
 を代入して、 
$$v_{yt}=e\frac{v_2}{dm}\cdot l\sqrt{\frac{m}{2eV_1}}=\frac{v_2l}{d}\cdot \sqrt{\frac{e}{2mV_1}}$$

(5)

$$tan \theta = \frac{v_y}{v_x}$$
 より、
$$v_y = \frac{V_2 l}{d} \cdot \sqrt{\frac{e}{2mV_1}}, \quad v_x = \sqrt{\frac{2eV_1}{m}}$$
 を代入して、
$$tan \theta = \frac{\frac{V_2 l}{d} \cdot \sqrt{\frac{e}{2mV_1}}}{\sqrt{\frac{2eV_1}{m}}}$$
$$= \frac{V_2 l}{2dV_1}$$

(6)

電子が偏向板通過してから蛍光面に達したときに移動したy成分の距離Δy1は、

$$\Delta y_1 = L \tan \theta$$
 より求まる。

$$L=L$$
 ,  $tan \theta = \frac{V_2 l}{2dV_1}$  を代入して、

$$\Delta y_1 = L \frac{V_2 l}{2dV_1}$$

電子が偏向板を通過するまでに移動したy成分の距離Δy2は、

$$v^2 - v_0^2 = 2ax$$
 の式から求まる。 (等加速度運動の基本関係式)

$$v=v_{y}=rac{v_{2}l}{d}\cdot\sqrt{rac{e}{2mV_{1}}}$$
 ,  $v_{0}=v_{y0}=0$  ,  $a=a_{y}=erac{V_{2}}{dm}$  ,  $x=\Delta y_{2}$  を代入して、

$$\left(\frac{v_2 l}{d} \cdot \sqrt{\frac{e}{2mV_1}}\right)^2 - 0^2 = 2 \cdot e \frac{v_2}{dm} \cdot \Delta y_2$$

$$\therefore \Delta y_2 = \frac{V_2 l^2}{4 dV_1}$$

よって、距離zは、

$$z = \Delta y_1 + \Delta y_2$$

$$= L \frac{V_2 l}{2 dV_1} + \frac{V_2 l^2}{4 dV_1}$$

$$= \frac{V_2 l (2L + l)}{4 dV_1}$$